

平成 27 年度建築設備技術遺産 新聞報道

の0が2類る %と前で同質並、69県な・と

JABMEE
建築設備技術遺産
5件を認定

建築設備技術者協会（JABMEE、田辺新一会長）は、建築設備の技術、役割、文化を次世代に伝える建築設備技術遺産5件を認定した。4回目となる今回は、「設備設計支援手造りマイクログンピュータ」「磚子支持金具」「暗感ラック」、配管用支持金具「パイラック」「初代コンデンシング給湯器」「プリオール・エコ」

「初めて国産化された高級衛生金具類」「インダクションユニットとその技術資料」が選ばれた。認定式は6月24日の総会後に実施する。

認定を受ける
た5件の管理
者は次のお
り（敬称略）。

手造りマイクログンピュータ
設備設計支援手造りマイクログンピュータ
設備設計支援手造りマイクログンピュータ
設備設計支援手造りマイクログンピュータ

工業新網支店

▽磚子支持金具「暗感ラック」、配管用支持金具「パイラック」ネグロス電工技術部▽初代コンデンシング給湯器「プリオール・エコ」大阪カスリビング事業部
▽初めて国産化された高級衛生金具類「いすの家」西原脩三記念館▽インダクションユニットとその技術資料「新日本空調技術本部」



日刊 建設通信新聞 2015年5月20日

ーシヨン能力を試される場となる。

また、グループとしての一体感の更なる醸成を目的とした交流活動でも舟めぐりを活用し、グループ会社9社から30歳台を中心とする若手社員各1人が参加した。日常とは異なる視点で東京都心

の川とまちを観察しながら、交流を深めた。舟めぐりの後は建設技術研究所の本社で、「これからのまちづくり」をテーマとした座談会が開催され、議論を交わした。

設備技術遺産5件を認定

6月24日に表彰式

JABMEE

建設設備技術者協会(JABMEE、田辺新一会長)は、15年度建設設備技術遺産を認定した。今年度は、新たに5技術を遺産に認定。表彰式は6月24日の検会後に行われる。同制度は、建設設備の発

・収支予算案など各議案

るとともに、紫外線を力

ON」の2段文字と社章

き合い」を表している。

満義会

展に寄与した技術や情報などを次世代に伝え、多くの人に広めていくことを目的として12年度に創設されたもの。今年度の認定により、計37件(うち1件は特別認定)が建設設備技術遺産に認定されたことになる。

1924年に生産を開始し、衛生金貨類国産化の先駆けとなったハイロット印金員類やまたハイロット印金員類が普及していない時代に自作され、空調熱負荷計算などのプログラムも自社で作成したコンピュー

衛生・暖房金員類(管理
者・いすの(家西原三記
念館、所有者)西原(イン
ダクシヨンユニットとそ
の技術資料(管理者・新日
本空調技術本部、所有者・
新日本空調

連団体の方を結集する方

レキキャストコンクリート

が人も減るとつたるか。

受章を

インフラ担う功績讃える

15年春の褒章祝賀会

建設業関係11団体

建設業関係11団体が主催する「15年春の褒章祝賀会」が15日、東京・千代田区の都市センターホテルで開かれた。

この

、そこから生み出さ
新技術を積極的に活
ることによる市場の
と拡大を図るとして

交省が、これら内容
り込んだ素案を28日
国土審計画部会に
する。計画部会の最
を6月にまとめ、そ
開く国土審議会に報
た上で今夏中に開議
する。

行して作業を進める
地方計画は本年度未
定に向けて広域地方
協議会で検討を進め
案の内容は、21日に
れた自民党国土交通
(坂井学部会長)に
省が報告した。

し、各社の事業展開
援していく考えを示
。会長は国土交通省
める外国人建設就労
け入れ事業にも言
就労者が帰国した後
海外進出する日本企
パートナーとなるこ

着実に成果上げる 海上工事の適正工期提案へ

とが期待できる」と述べ、今後の検討
た。同事業との連携など課題とした。

題を挙げた上で、「港湾、
海上工事は単年度発注が
多い。(自然条件の影響
を受けやすい)特有の性
質がある中で、問題点を
整理し、適正な工期など
を発注者に提案していき
たい」と述べた。自身が

協長 技術や働き方を近代化
生産効率高め業界発展へ
東川 電川

各団体の総会
吉田倬郎氏を

建築設備技術者協会 鎌田元康東大名教授
(JABMEE、田辺新
会長)は、建築設備の
「技術」役割「文化」
を多くの人たちに知っ
てもらうことを目的に創
設した「建築設備技術遺
産」の15年度認定遺産を決
めた。認定委員会(委員長・
終了後に行われる。

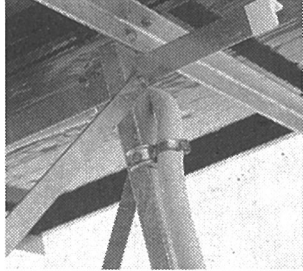
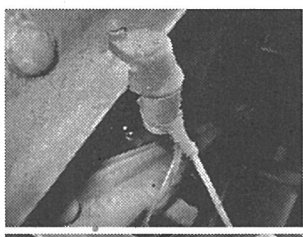
JABMEE 建築設備技術遺産5件を選定



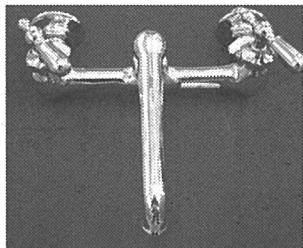
設備設計支援手造り
マイクロコンピュータ



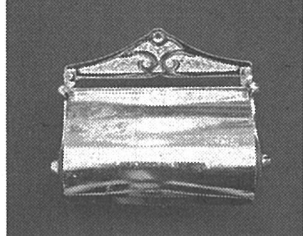
初代コンデンシング給
湯器「プリオール・エコ」



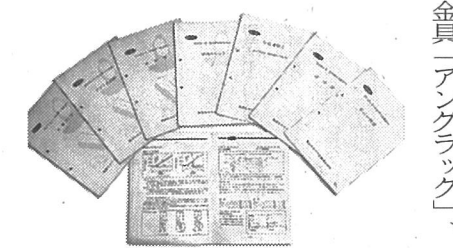
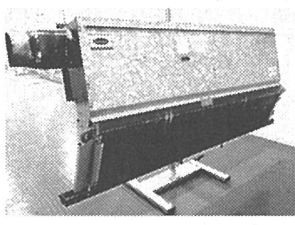
磚子支持金具「アングラック」①と
配管用支持金具「パイラック」



初めて国産化された高級衛生金具類(炊事
流し用水栓④と壁付き紙巻き器)



インダクションユニット
方式が採用されたコンジ
ットウエザーマスター装
置⑤と技術資料⑥



配管用支持金具「パイラ
ック」はネグロス技術部
▽初代コンデンシン
グ給湯器「プリオール
・エコ」は大阪ガスリ
ビング事業部
▽初めて国産化され
た高級衛生金具類は
するの家 西原脩三記
念館
▽インダクションユ
ニットとその技術資料
は新日本空調技術本
部。

6月24日に認定式

建築設備技術遺産に認
定された5件のうち、
「設備設計支援手造りマ
イクロコンピュータ」「設
備設計支援手造りマ
イクロコンピュータ」は、
まだパソコンが普及して
いない1978年から設
備設計の効率化を目指し
て製作されたコンピュー
ターの有効性に着目し
て開発、活用した点が評
価された。
建築設備技術遺産は、
空調・衛生・電気・搬送
の4領域に関する技術と
関連する技術と
.....
空調・衛生・電気・搬送
の4領域に関する技術と
関連する技術と
.....

2015.5.22 月刊建設工業新聞

さや管システム・スプリンクラーシステム

空調設備に
衛生設備に
消火設備に

配管支持金具
管友株式会社
事業所 〒123-0864 東京都足立区鹿浜3-27-20
TEL 03-3857-1351(代)
FAX 03-3857-3621
機材配送網・全国主要都市

煙突・サイロ・水槽

設計・施工
点検・補修

水戸
東京 都台
TEL
FAX

寝具
備品

工法
ウェルポイント
ディープウェル
リチャージウェル
+ 掘進化ウェル

工法
ウェルポイント
ディープウェル
リチャージウェル
+ 掘進化ウェル